



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社 ジーダット
コード番号 3841 URL <https://www.jedat.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 松尾 和利
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 伊藤 公哉
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6262-8400

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,519	10.1	164	6.0	199	11.7	144	29.2
2024年3月期第3四半期	1,379	6.9	175	13.9	226	4.8	203	3.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	37.46	
2024年3月期第3四半期	52.93	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,369	3,525	80.7
2024年3月期	4,516	3,534	78.3

(参考)自己資本 2025年3月期第3四半期 3,525百万円 2024年3月期 3,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		40.00	40.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	6.7	320	5.9	350	6.4	240	27.0	62.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	3,909,800 株	2024年3月期	3,909,800 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	60,472 株	2024年3月期	60,472 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	3,849,328 株	2024年3月期3Q	3,849,328 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における、当社の主要顧客である半導体を含む電子部品業界では、自動車、産業機械、スマートフォン、パソコン向けの半導体デバイスの需要が(AI関連を除き)低調に推移しました。一方で、AI関連デバイスには高い期待が寄せられております。今後、緩やかながらも各社の在庫調整が進む中で、回復の兆しも見え始めております。また、パワー半導体市場においては、EV化の減速感が否めないものの、再生エネルギー、産業機械、民生品などでの需要は依然として高く、各社の設計設備や生産設備への投資は継続されております。一方で、アメリカの次期大統領であるトランプ氏による対中国政策により、日本が強みを持つ半導体関連製品の中国向け輸出規制が強まるとの観測もあり、業界全体に不透明感が広がっております。

このような状況の中、当社は産官学との協力を強化し、アナログ半導体向けにAIを用いた設計の自動化に取り組み、設計環境の効率化を追求しております。2024年12月には、主力製品であるSX-MeisterにAIを活用したシミュレーション波形判定ツールを搭載した新製品「SX-Meister SCAI」をリリースしました。また、アナログLSI設計自動化に向けた「ACC (Analog Chip Compiler)」の機能拡張版や、パワー半導体設計向けツールの機能強化版をリリースすることで製品競争力を向上させました。さらに、開発部門の人員増強により、AI関連製品並びに最先端プロセス対応を見据えた開発組織の改編を実施するなど、開発力の強化にも努めております。2024年7月には、TSMCのOIP (Open Innovation Platform) EDA Allianceに加入し、同年10月に開催された「OIP Ecosystem Forum」に出展しました。この場で、SX-Meisterを使用したアナログ、イメージセンサー、メモリ等の設計効率向上や、TSMCの最先端プロセス技術によるお客様のイノベーション促進について紹介いたしました。国内販売促進活動としては、フランスXYALIS社のマスクデータ自動生成ツールおよび同じくフランスPOLLEN社のAIによるプロセス解析・最適化ツールについて国内代理店契約を締結し、製造プロセスといった新たな事業領域へも今後営業活動を積極的に展開してまいります。海外販売促進活動では、2024年12月に中国上海で開催された「ICCAD-Expo 2024」に出展し、アナログLSI設計自動化ツール「ACC」、パワー半導体設計ツール「PowerVolt」および大規模フォトマスクブラウザ「HOTSCOPE」を紹介することで、新市場の開拓を進めました。また、デバイス設計受託サービスにおいては、国内での設計委託需要が引き続き活発であり、業績に順調に貢献しております。

これらの活動の結果、売上高は15億19百万円(前年同四半期比10.1%増)となり増収となりました。一方で営業利益は固定費の増加により1億64百万円(前年同四半期比6.0%減)となりました。経常利益は、助成金収入に加え円安の加速などの影響もあって、1億99百万円(前年同四半期比11.7%減)となりました。四半期純利益は繰延税金資産の取崩し等の影響により1億44百万円(前年同四半期比29.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末と比較して1億46百万円(3.2%)減少し43億69百万円となりました。内訳として流動資産は1億13百万円(2.7%)減少し40億84百万円、固定資産は32百万円(10.2%)減少し2億85百万円となりました。

流動資産が減少した主な要因は、受取手形及び売掛金が79百万円(19.1%)減少し3億38百万円となったこと及び、現金及び預金が43百万円(1.2%)減少し34億42百万円となったことによるものであります。固定資産が減少した主な要因は、繰延税金資産が40百万円(40.7%)減少し58百万円になったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して1億36百万円(13.9%)減少し8億44百万円となりました。内訳として、流動負債は前事業年度末と比較して1億36百万円(14.0%)減少し8億41百万円、固定負債は3百万円(前事業年度末と同額)となりました。流動負債が減少した主な要因は、前受金が76百万円(12.0%)減少し5億60百万円となったこと及び、賞与引当金が57百万円(53.8%)減少し49百万円となったことによるものであります。固定負債の内訳は、資産除去債務3百万円であります。

純資産は、前事業年度末と比較して9百万円(0.3%)減少し35億25百万円となりました。純資産が減少した要因は、利益剰余金の減少9百万円(0.5%)によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の78.3%から80.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に公表しました2025年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合がありますことをご承知おきます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,485,575	3,442,224
受取手形及び売掛金	418,656	338,899
電子記録債権	235,745	211,175
仕掛品	2,805	1,270
原材料	4,373	7,444
その他	51,099	83,421
流動資産合計	4,198,255	4,084,434
固定資産		
有形固定資産	22,684	25,461
無形固定資産	18,032	16,200
投資その他の資産		
投資有価証券	138,567	145,041
繰延税金資産	99,033	58,694
その他	39,594	40,099
投資その他の資産合計	277,196	243,835
固定資産合計	317,913	285,497
資産合計	4,516,169	4,369,931
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,107	91,551
未払法人税等	49,073	—
賞与引当金	106,859	49,402
前受金	637,084	560,738
その他	121,533	139,495
流動負債合計	977,658	841,187
固定負債		
資産除去債務	3,700	3,700
固定負債合計	3,700	3,700
負債合計	981,358	844,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,524	762,524
資本剰余金	893,443	893,443
利益剰余金	1,907,482	1,897,716
自己株式	△28,639	△28,639
株主資本合計	3,534,810	3,525,044
純資産合計	3,534,810	3,525,044
負債純資産合計	4,516,169	4,369,931

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	1,379,906	1,519,713
売上原価	470,816	565,607
売上総利益	909,089	954,106
販売費及び一般管理費	733,750	789,235
営業利益	175,338	164,870
営業外収益		
受取利息	30	343
為替差益	9,857	7,805
助成金収入	35,404	27,232
投資事業組合運用益	5,610	—
その他	14	906
営業外収益合計	50,917	36,286
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	1,435
その他	7	0
営業外費用合計	7	1,435
経常利益	226,249	199,721
税引前四半期純利益	226,249	199,721
法人税、住民税及び事業税	23,155	15,173
法人税等調整額	△642	40,339
法人税等合計	22,512	55,513
四半期純利益	203,736	144,207

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社は、EDAソフトウェア開発・販売コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社は、EDAソフトウェア開発・販売コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	21,681千円	21,768千円